

糖尿病

ワンポイントアドバイス

「糖尿病薬を上手に飲むために」



経口血糖降下薬には服用する時間やタイミング、回数を間違えると効果が落ちてしまうものや副作用が現れやすくなるものがあります。以下3種類の薬は特に気をつけていただきたいお薬です。

▶ **スルホニル尿素薬**
(アマリール、グリミクロンなど)

膵臓からインスリンの分泌を増やして1日中血糖値を下げるお薬です。経口血糖降下薬の中で一番作用が強く注意が必要です。飲み忘れたからといって、次の服用機会に倍量を内服すると低血糖をおこす危険がありますので、必ず用量用法を守ってください。また、食事の時間がいつもより遅れたり、食事を抜いたりすると低血糖になる可能性がありますので、規則正しい食生活が大切です。

▶ **速効型インスリン分泌促進薬**
(グルファスト、スターシスなど)

膵臓からインスリンの分泌を増やして食後の血糖値を下げるお薬です。服用後すぐに効きはじめ、2～3時間ぐらいで効果がなくなるため、毎食直前に内服します。食前5分以上前に服用すると低血糖を起こすことがあり、食後に服用すると効果がありません。飲み忘れた場合は、次の服用機会から指示通りに内服ください。

▶ **α-グルコシダーゼ阻害薬**
(ベイスン、セイブルなど)

小腸の中でα-グルコシダーゼという酵素の働きを阻害して、食事で摂った糖の吸収を遅らせるお薬です。この薬も毎食直前に内服します。食後に内服すると効果が弱くなってしまいますが、食べている途中や食直後に飲み忘れに気づいた場合は、すぐに内服してください。

上手に飲むコツとしましては……

📌 **決められた時間に、決められた量をキチンと飲むこと**

📌 **水か白湯でお薬を飲むこと**

📌 **シックデイ (風邪などの病気の時)は医師に薬の量を確認すること**



糖尿病のお薬には他に、インクレチン関連薬 (グラクティブ、ネシーナなど) やビッグアナイド薬 (ネルビス、メルビン、メトグルコなど)、インスリン抵抗性改善薬 (アクトス) があります。これらのお薬には、即効性はありませんので、多少時間がずれても問題はありません。お薬によっては食前や食後など内服するタイミングが決まっているものが多いので間違えずに飲むように心がけてください。飲み忘れた時の対応やご自分のお薬について疑問点がありましたら、お気軽に薬剤師にお問い合わせください。

(薬剤師 駒田 藍)

三重病院 外来糖尿病教室

5月開催のお知らせ

「歯周病を予防しよう!!」

歯周病は糖尿病の第6番目の合併症といわれています。歯周病は糖尿病のコントロールにも影響します。日ごろの手入れで、歯周病を予防しましょう。



日時

平成23年5月25日(水) 14:00～15:00

場所

三重病院 研修棟 第一研修室
外来棟玄関にむかって左側の建物です詳しくは職員にお尋ねください

講師

歯科 / 竹岡医師、その他《歯磨き実習も行う予定です》

関心のある方はどなたでも参加できます。参加費無料ですので、当日直接会場にお越しください。

お問い合わせは 059-232-2531 内科外来まで